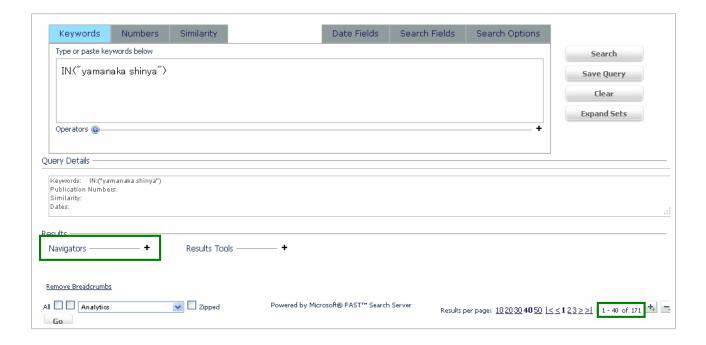


## DISCOVER 特徴機能のご紹介 Vol.1

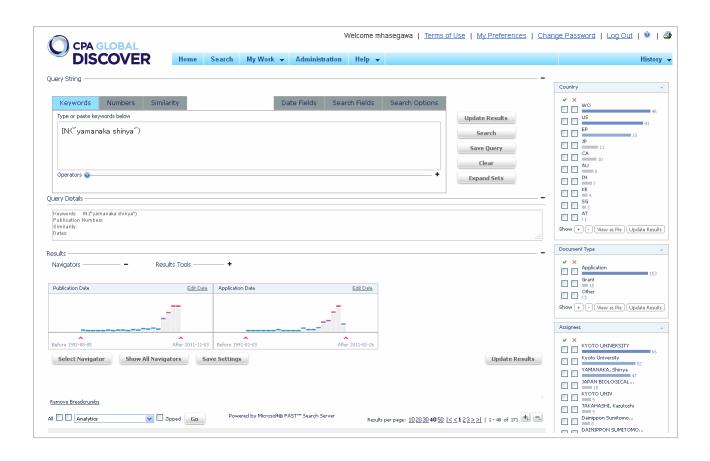
2011 年に日本でもリリースされた CPA GLOBAL DISCOVER。その特徴機能をシリーズでご紹介していきたいと思います。今回は「Navigators」機能です。本機能は文字通り、イメージしている検索式策定や検索結果にたどり着くまでのナビゲーション機能とも言えます。検索ツールに不慣れな方や検索条件が上手く設定できないような時にサポートしてくれる機能です。

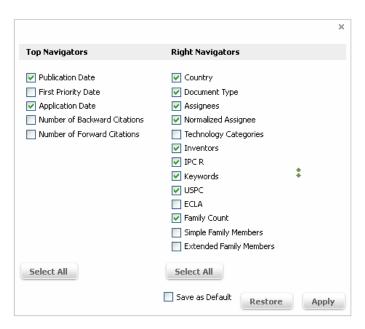
事例として「現時点で分かっているのは発明者名だけ」という設定で予備検索をしてみます。今回はノーベル医学生理学賞を受賞された山中伸弥教授のお名前をお借りして、発明者 IN:("yamanaka shinya") で検索してみます。



上記の画面コピーの通り、ヒットしたのは「171 件」でした。このとき、検索対象とする国・地域、期間、種別などは何も指定していません。DISCOVER が収録している「91 カ国」のデータを対象に検索を実行しています。また、デフォルト設定では「Navigators」は<mark>非表示</mark>となっています。最初から表示されると嬉しいのですが、グラフィカルなデータが多い為、ユーザーの利用環境によっては検索結果リストの表示が遅くなることを避けるためであると CPA の開発スタッフからその理由を聞いています。

それでは、「Navigators」を表示させてみます。左側フレームで示した部分に「Navigators」を表示させる「+」ボタンがあります。「Navigators」を表示させると次の画面コピーのように複数のグラフィカルデータが表示されます。表示できるのは現在 18 項目となっています。また、表示させる項目と表示位置は ID ごとに設定することが可能です。



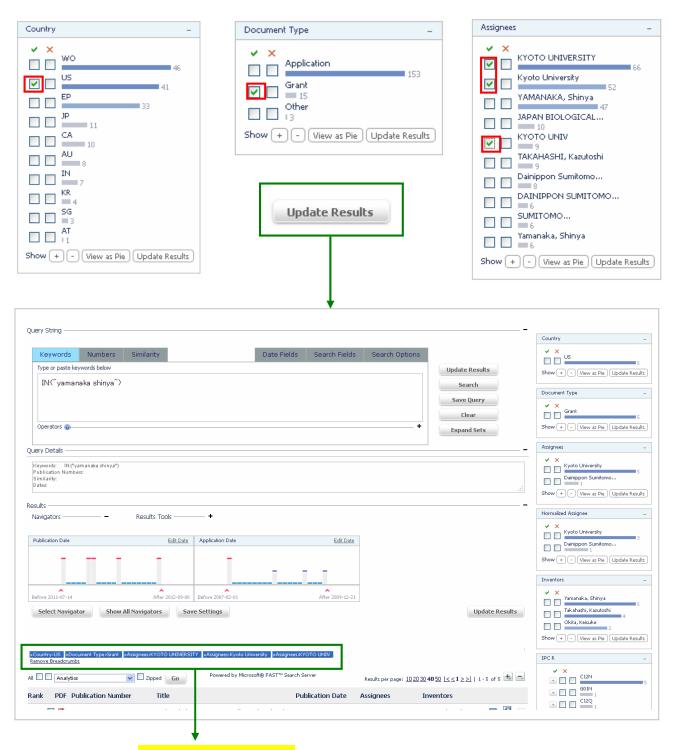


これら「Navigators」機能は全て<mark>アクティブな状態</mark>になっています。「Navigators」に表示されている項目にチェックを付与し再検索を行うことができます。

検索に慣れている方々は検索式作成スペースに直接条件式を入力して頂くことができると思いますが、不慣れな方などは予備検索後、この「Navigators」を利用することで、新たな検索条件を設定することもできると思います。

普段から検索ツールになれている方やツールの入力ロジックなどを理解されている方であれば検索式作成スペースに「IN:("yamanaka shinya") KD:("B\*") PC:("US") PA:("Kyoto University\*")」などと直接、検索条件を入力されると思います。

しかし、「Navigators」を利用すれば「Navigators」を確認しながら必要な項目にチェックを付与するだけで、 簡単に新たな検索条件式を作成することができます。新たな条件では「5件」に絞ることができました。



- ><u>Country:US</u> ><u>Document Type:Grant</u> ><u>Assignees:KYOTOUNIVERSITY</u>
- >Assignees:Kyoto University >Assignees:KYOTO UNIV

## Remove Breadcrumbs

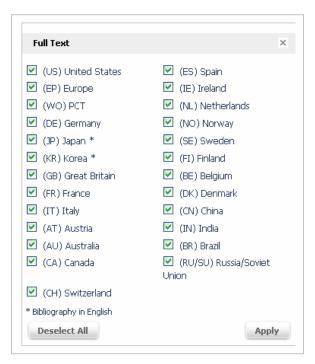
また、「Navigators」を利用して設定した条件は解除することも可能です。例えば、公報種別 Document Type を解除したい時は日付データの下に表示されるハイパーリンクをクリックします。複数の条件を一度に解除したい時は Remove Breadcrumbs を開き、解除したい条件を選択します。

DISCOVERはマニュアルがなくても、また検索に不慣れな方でも「目的地=検索結果」にたどり着けるようなツールを目指して設計されています。そのために用意されている機能がこの「Navigators」です。

- 1) 先ず、保有している情報、条件にて「91カ国」を対象に検索してみる。
- 2)「Navigators」を利用して追加すべき、絞り込むべき条件を知る、見つける。
- 3)「Navigators」にて追加した条件で再検索する。
- 4) 再度、「Navigators」を閲覧し、目指すべき結果に近づけていく。

「Navigators」を利用することで検索条件として認識していなかったデータを知り、見つけることができるかもしれません。

今回は「Navigators」という機能をご紹介させて頂きましたが、最後に DISCOVER が収録している「91 カ国」 についてご説明させて頂きます。



上記 23 カ国(※Japan\* と Korea\*は抄録のみ)はフルテキストのデータを収録。非英語圏のデータについてはオリジナル言語のテキストデータと機械翻訳された英語フルテキストデータを収録しています。そのため、次回、ご紹介する予定の「Hybrid 検索」(オリジナル言語&英語での検索)も可能です。



左の「68 カ国」はいわゆる EPO 発行の DOCDB データ(書誌と抄録)となっています。 DOCDB のデータは国によっては収録率、更新頻度、タイムラグなど不安定な要素があることは否めません。参考データとお考え頂ければ幸いです。

CPA GLOBAL DISCOVER は NGB/CPA の年金管理サービスなどをご利用頂いている CPA ユーザー様であれば通常価格、年間「50 万円」のところを年間「37.5 万円」でご利用頂けます。(月額換算すると少し細かくなりますが 31,250 円。さらに細かくなりますがフルテキストが収録されている 23 カ国で割ると 1 カ国あたり年間 16,304 円、月額は何と 1、359 円….)

以上、長くなりましたが CPA GLOBAL DISCOVER の特徴機能をご紹介させて頂きました。次回は先程ご紹介した「Hybrid 検索」(オリジナル言語 & 英語での検索)機能、DISCOVER の出力機能などをご紹介させて頂きます。

CPA GLOBAL DISCOVER に関するお問い合わせは下記担当者までお願い致します。

IP 総研 長谷川 雅則、白岡 剛 IP 総研代表メール <u>ip-soken@ngb.co.jp</u>